

登別洞爺広域観光圏特別座談会

あふれる文化を生かす

登別洞爺広域は、日本屈指の名湯「登別温泉」や、湖、火山と多様な自然を堪能できる「洞爺湖温泉」など、観光王国、北海道の中でも屈指のリゾート地帯だ。2020年は北海道初の国立博物館を含むアイヌ文化の拠点「民族共生家微空間(ウポポイ)」が域内の白老町にオープン。その魅力はさらに増している。北海道と登別洞爺広域の観光振興をけん引する4氏に今後のさらなる振興策を語ってもらった。

——(司会) 北海道の観光入り込みについて、現状をお聞きしたい。

山崎 今年春に「どうみん割」が再開し、3〜4月とゴールデンウィークは全道的に良かったが、インバウンドが復活していない。その後のゴールデンウィーク直後に少し落ち込み、7月は多少良くなったが、新型コロナウイルスの変異株B.1.5の爆発的流行で、再び落ち込んでしまった。重症化率や病床の逼迫状況が以前と全く違うのだが、感染者の数が多くことでイメージ的に旅行が敬遠された。

——全国の旅行支援に期待していたが、7月の開始予定が延期されてしまった。約2年半、地域の皆さんが苦しい思いをしてきた。消費者の皆さんも早く旅行をしたいという気持ちがある。国は、全国旅行支援として入国制限の緩和、撤廃を一刻も早く進めたい。

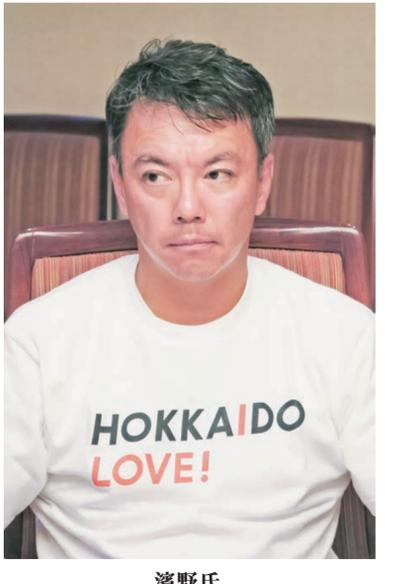
——入国は1日2万人という制限がある(注・9月

キャンペーンを国内外向けに 動画でアピール、感染対策も

山崎 唐神

——コロナ下における北海道の観光事業者支援の取り組みについて。

山崎 2020年5月から、「北海道を忘れないでね」「コロナが落ち着いたら北海道にまた来てね」というメッセージを海外中心に映像で伝える「HOKKAIDO LOVE!」キャンペーンを始めた。これはもう一つの側面があり、北海道の皆さんに「自分の住んでいる北海道の素晴らしいところを再認識しよう」というシビック・プライドキャンペーンでもある。その後、感染が落ち着き



濱野氏

——全国旅行支援が当分ないと話にならない。感染者数の報道が入り込みや宿泊予約に大きな影響を及ぼす。

山崎 マスコミは感染数ペースで報道されるのを憂るべき。病床は少なく、重症化率や病床の逼迫具合を伝えるべきだ。感染者の90%超が軽症ないし無症状なのに、10%にも満たない重症の重い人ばかりを取り上げる。病床の逼迫状況など、北海道は北海道府県で下から数えた方が早い。



座談会は札幌市の札幌グランドホテルで8月5日に実施



村木氏

認知度上げ年間100万人来場を 花火やアニメなど多彩に展開

濱野 村木

——コロナ下における北海道の観光事業者支援の取り組みについて。

山崎 2020年5月から、「北海道を忘れないでね」「コロナが落ち着いたら北海道にまた来てね」というメッセージを海外中心に映像で伝える「HOKKAIDO LOVE!」キャンペーンを始めた。これはもう一つの側面があり、北海道の皆さんに「自分の住んでいる北海道の素晴らしいところを再認識しよう」というシビック・プライドキャンペーンでもある。その後、感染が落ち着き

——コロナ下における北海道の観光事業者支援の取り組みについて。

山崎 2020年5月から、「北海道を忘れないでね」「コロナが落ち着いたら北海道にまた来てね」というメッセージを海外中心に映像で伝える「HOKKAIDO LOVE!」キャンペーンを始めた。これはもう一つの側面があり、北海道の皆さんに「自分の住んでいる北海道の素晴らしいところを再認識しよう」というシビック・プライドキャンペーンでもある。その後、感染が落ち着き

体験
美味
秋だ!

愛してるぜ 北海道。

TEAM NACS FROM HOKKAIDO

感染防止対策はしっかりと!

北海道で、秋をさきどり!

旅行前に検査を受けて安心な旅を。

北海道公式観光サイト
HOKKAIDO LOVE!

あなたの愛する北海道をシェアしよう! #hokkaidoloveをつけてSNSに投稿!

LINE でキュンちゃんとならう!!
HOKKAIDO LOVE! LINE